

Schau mal! Was ist anders?



どれがかわったの? von Haim Shafir

人数: 2~6人 年齢: 4才から 時間: 約10分

セット内容



カード32枚

ゲームの目的

カードの両面の絵柄はそっくりですが、よく見るとどこかが違います。例えばお花、咲いている面とつぼみの面。太陽のカードでは、少し隠れていた太陽が、雲の上で元気な顔を見せています。一人が出題役となり、カードを1枚選んで裏返します。みんなでのどのカードの絵が変わったか探しましょう。『家の明かり、ついてははずなのに?』『男の子、帽子のつばの向きを変えたかも。』いち早くどれが変わったか気づいたプレイヤーは、自分の手持ちカードを1枚、机のカードに加えることができます。最初に手持ちカードを無くしたプレイヤーが勝者です。

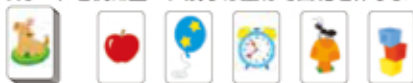


1

遊び方 (入門編)

小さなお子さまが遊ぶ場合や遊び方に慣れるまでは次のルールで遊んでみましょう。

5枚のカードを机に並べ、残りは重ねて山札を作ります。



一番年下のプレイヤーが最初の出題役になります。他のプレイヤーは机のカードを良く見て覚えましょう。出題役以外は目を閉じて、出題役はカードを1枚裏返し『どれがかわったの?』と合図します。他のプレイヤーは目を開けて変わったカードを探しましょう。いち早く見つけたプレイヤーは、そのカードを指差しません。見事正解すると褒美としてそのカードをもらい、自分の手元に置きます。そして、次の出題役となり山札から1枚、机に補充します。もし間違ったら、そのプレイヤーは1回お休みです。他のプレイヤーは続けて、正解のものを探します。最初に3枚のカードを集めたプレイヤーが勝者です。最初のカードを少なくするとより簡単に遊べます。

保護者の皆様へ

スピード競争だけではなく、カードを裏返ししながら簡単なお話を作ってあげましょう。『ワンちゃん、今まで起きていたのに眠っちゃったね。』『信号が赤に変わっちゃった。もう渡っちゃダメだね。』『アリさんが散歩中、キノコを見つけたよ!』



2

キノコに登ると何が見えるかな?』こうして絵の内容を話しながら遊ぶことによって、違いを印象深く記憶に留めることができます。

ゲームの準備 (基本編)

各プレイヤーに配るカードの枚数は、下の表のように、参加人数によって変わります。

・ 2人 - 6枚	・ 4人 - 5枚	・ 6人 - 4枚
・ 3人 - 6枚	・ 5人 - 4枚	

残りのカードから5枚、好きな面を上にして机の真ん中に並べます。その他のカードは箱の中に戻します。

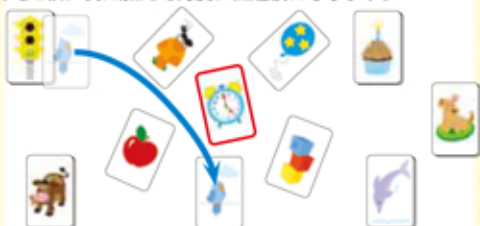


遊び方 (基本編)

一番年下のプレイヤーが最初の出題役になります。他のプレイヤーは机のカードを良く見て覚えましょう。出題役以外は目を閉じます。出題役はカードを1枚裏返し『どれがかわったの?』と合図します。他のプレイヤーは目を開けて変わったカードを探しましょう。各プレイヤーが答えられるチャンスは一回だけです。最初に言い当てることのできたプレイヤーが次のゲームの出題役になります。自分の手札から一番上の1枚を机のカードに加え、次のラウンドに進みます。

3

もし誰も正解できなかった場合は、出題役が自分の手札から1枚、机に加えて再度、出題役になります。



例: 出題役の“A”は、目覚まし時計のカードを裏返しました。真先に時刻が変わったことに気づいた“B”が『目覚まし時計』と言いました。見事正解した“B”が手札から『青い鳥』を場に置き、次の出題役になりました。そしてみんなが目を閉じている間に、次のカードを選んで裏返します。

ゲームの終了 (基本編)

一番早く手持ちのカードを、全て使い切ったプレイヤーが勝者です。

2人きりでも楽しめます!

出題役と答え役を交代しながら遊びます。見つけるスピードを競うことなく、じっくり探す力を鍛える遊びとして楽しみましょう。その他のルールは同じです。



輸入販売元: 株式会社ブラザー・ジョルダン社
〒631-0012 奈良県奈良市中山町1512-1
TEL: 0742-40-4048 www.brjordan.com

© 2014 AMIGO Spiel + Freizeit GmbH



Version 1.1

4